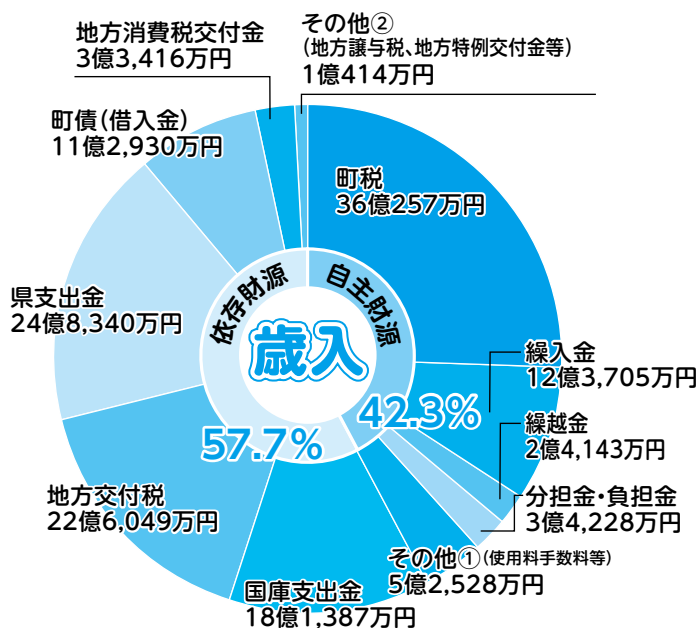
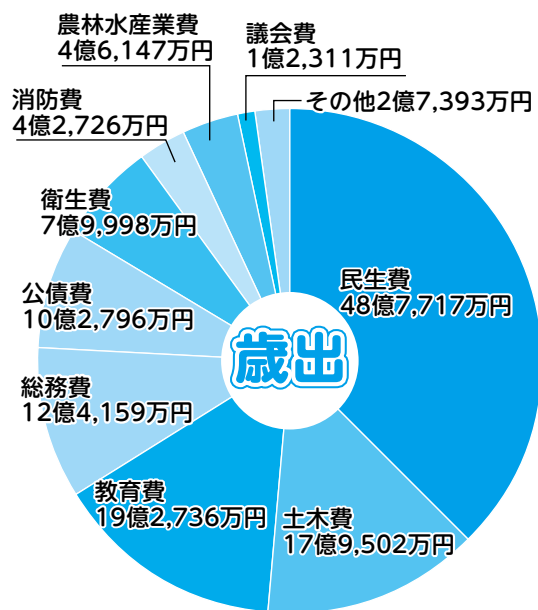


平成26年度 一般会計歳出129億5,485万円

決算 基金繰入と



■ 歳出 129億5,485万円

■ 歳入 140億7,397万円

基金繰入 9億933万円増額

一般会計決算は、歳入140億7397万円で25年度より6.4%増、歳出は129億5485万円で0.3%減となりました。

■ 歳入：自主財源は対前年度比8億8067万円増となりました。要因の一つに、国民健康保険特別会計の赤字を補填するため基金(貯金)の取り崩し等により9億9333万円(407.6%)増額の繰入金があったことが挙げられます。自主財源の大部分を占める町税は1億4509万円(4.2%)増額しています。依存財源は対前年比4012万円減となりました。県支出金が宮城地区畑地かんがい排水等整備事業の完了等により1億2599万円(4.8%)減となっています。

■ 歳出：毎年増加傾向にある扶助費(住民福祉のための経費)はこども医療費助成事業において対象を中学校卒業までに拡大したことや、認可保育園運営費補助金、介護給付・訓練等給付事業の増等により、前年度より11%増えました。

用語の説明

歳入	説明
町税	みなさまからの税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
町債	町の借金

歳出	説明
民生費	お年寄りや児童福祉、保育所運営
土木費	道路や河川、公園の整備
教育費	幼稚園・小中学校教育や生涯学習
総務費	職員人事や役場全体の管理
公債費	借金(町債)の返済
衛生費	ごみ処理や予防接種